

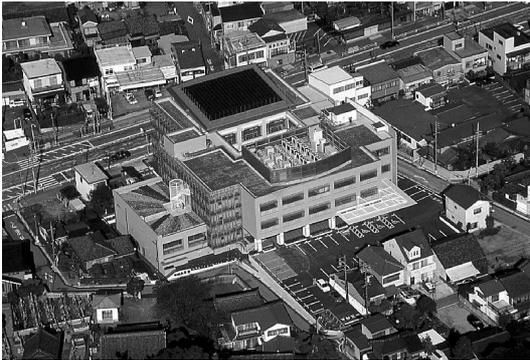
豊橋市総合福祉センター「あイトピア」建設事業

受賞機関 豊橋市

概要

豊橋市総合福祉センター「あイトピア」は、「福祉をキーワードとした交流の促進」「障害者の生活支援の充実」を目指し、「総合福祉センター機能」「障害者生活支援機能」「福祉ふれあい機能」を持つ本市の福祉の拠点施設として整備したものである。

立地については、市域にどこからでも容易にアクセスできるように、都心部に近く、本市のシンボルでもある路面電車沿線を選定した。またここは、住宅地にありながらも緑豊かな公園に近接しており、地域福祉に携わる人たちの憩いの場としても適している。



あいとぴあ

- ・構造・規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
地上3階地下1階
- ・敷地面積：3,551.02㎡
- ・延床面積：6,068.3㎡
- ・総事業費：約23億円

事業の特徴

(1) 地球環境への配慮

屋上及び壁面緑化の採用

都市の蓄熱をいくらかでも緩和するために採用した。センターの西面にはツタを植えたプランターを設置し、西日によるセンター内の冷房の効率性を高めるようにしている。緑化に取り入れた植物は、季節により花をつけるもの、実のなるものがあり、視覚的にも楽しめるようにしている。

- ・太陽光発電システムの導入
30kWhの太陽光発電システムを導入し、センタ

ー内の電力の一部を賄っている。

雨水利用の促進

水資源の有効利用を図るため、パティオに降った雨をトイレの洗浄水に利用している。



壁面緑化

(2) バリアフリー化の促進

文字による案内

聴覚に障害を持つ方々のために、各部屋や各階のアプローチにモニターを設置し、文字による案内を行っている。

点字案内

センター中央にパティオ及び吹き抜けを配置することで、手摺をつたわればセンターを一周することができるようにした。手摺や案内板等手に触れられる箇所には、点字案内をふんだんに設けた。

多目的トイレの設置

誰でも快適に利用できるように、各階に2ブースずつ多目的トイレを設けた。

おわりに

総合福祉センター「あイトピア」の設計にあたっては、民間の技術及びセンスを積極的に活かしてこうとプロポーザル方式を採用した。

また、今回の建設事業にあたり、地元の方々や、福祉団体など関係諸団体の方々と何度も意見交換を行い、設計に反映させた。

今後は総合福祉センター「あイトピア」を中心として思いやりと温かな心を持った地域福祉活動が、一層盛んになることを願いながら、利用者の立場に立った施設運営に心がけていきたいと考えている。